

平成30年度

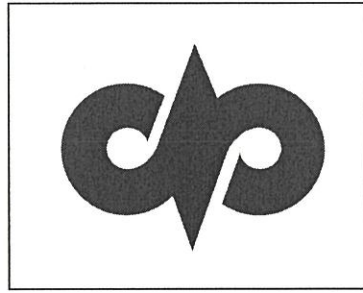
# 議会要覧



菊とぶどうといで湯の里・南陽

# Nanyo

南陽市議会事務局



この市章は南陽市の「ナ」を紋章化し、市民の団結と融和を図り市の限りない発展を象徴したものです。

(昭和42年4月1日制定)

## 南陽市民憲章

わたくしたちは、美しい自然と太陽に恵まれた南陽の市民です。

南陽市は、北に丘陵、南に沃野、すぐれた伝統と歴史をもった未来あるまちです。

わたくしたちは、このまちの市民であることに誇りをもち、より豊かな住みよいまちを築くために、力をあわせ、進んでこの憲章をまもります。

1. 緑と水を大切にし、きれいなまちをつくります。
1. 心とからだをきたえ、明るいまちをつくります。
1. きまりを守り、たすけあって楽しいまちをつくります。
1. 働くことに誇りをもち、豊かなまちをつくります。
1. 教養を深め、かおり高い文化のまちをつくります。

(昭和51年5月1日制定)

# 目 次

地 勢・沿 革	1
I 市 の 概 要	3
II 議 会	
1. 議員の構成	4
2. 議員名簿	5
3. 議会の構成	6
4. 議会の運営	8
5. 印刷物	8
6. 特別職報酬	9
7. 旅費・調査費・その他	9
8. 歴代議長	10
9. 歴代副議長	11
10. 歴代事務局長	12
11. 議会事務局	12
III 議会活動状況	
1. 議会開催状況	13
2. 議案提出状況	14
3. 議案・議決状況	15
4. 請願処理状況	15
5. 一般質問者数	15
6. 傍聴者数	15
7. 一般質問	16
8. 議員発議状況	18
9. 請願審査結果	19
10. 各常任委員会等行政視察状況	19
11. 行政視察来市状況	20
IV 行 財 政	
1. 歴代市長	21
2. 歴代助役・副市長	21
3. 歴代収入役	21
4. 南陽市組織機構図	22
5. 平成30年度議会費予算	24
6. 平成30年度一般会計予算	25
7. 平成30年度一般会計・特別会計・企業会計予算	27
8. 平成30年度一般会計歳出予算（性質別予算）	28

## 地勢・沿革

南陽市は、東に奥羽山脈をひかえ、南から西にかけて吾妻山系と飯豊山系に囲まれた山形県南部の置賜盆地に位置し、北部は山地で南に沃野が開け気候にも恵まれており、米、野菜、果樹などの栽培に適している。

また、風光明媚な県南県立自然公園や赤湯温泉など、豊富な観光資源を有する地理的条件に恵まれ、鉄道道路交通網にも恵まれた県南地方の要衝の地にある。

市内の長岡丘陵からは、約1万数千年位前（旧石器時代）の石器が発見されており、既にこの頃には人間が住んでいたと考えられ、この当時の人口は、今の南陽市地域では、おそらく10人とか20人位であったと考えられる。

土器を使うようになった縄文時代（約12,000～2,000年位前）の遺跡は、須刈田の大野平遺跡や宮内の久保遺跡など市内に70カ所以上あり、当時の住居跡や土器（生活用具）石器（生産、狩り、信仰の用具）など数多く発見されている。

今から約2,000年位前（弥生時代）になると、菰生田出土の石包丁（石製の穂つみ具）が示すとおり、この地方にも稲作文化が伝わった。

農業生産力が高まった次の古墳時代（4～8世紀）には、はじめに長岡の稲荷森古墳（全長96mの前方後円墳、国指定史跡）、その後上野や二色根地区の小型の古墳がつくられた。

奈良時代、平安時代（8～12世紀）には、政治や行政の仕組みも大分整い、市内郡山地区には当時の郡役所があったと考えられている。

また、宮内の熊野大社や、赤湯の薬師寺の創建も9世紀ごろと伝えられているように、仏教文化が栄えるとともに、文字、税など、今の生活の原形がつくられた時代である。

武家政治の鎌倉時代（1,192年～）には、幕府は大江時広を当地方（長井荘）の地頭に任じ、以後八代もその支配は続いた。

また、このころからこのあたりを北条郷と呼んでいたことが古文書からうかがい知ることができる。

14世紀、室町時代になると、天授6年（1,380年）、伊達氏の支配に変わる。これらの時代の仏教信仰の深さは、竹原の「正元元年大日板碑」（県内最古、県指定）他、数多い板碑などによりしのばれる。

戦国時代にかけての伊達氏の支配は、宗遠から独眼竜として知られる政宗が岩出山に移封されるまで211年間も続いた。

のち、蒲生氏が7年間支配、1,598年から明治維新にいたるまで上杉氏の支配となる。この時代に市内各地の特色が生まれた。

明治2年、版籍奉還とともに上杉茂憲が藩知事に任ぜられたが、地方は従来どおり代官制であった。

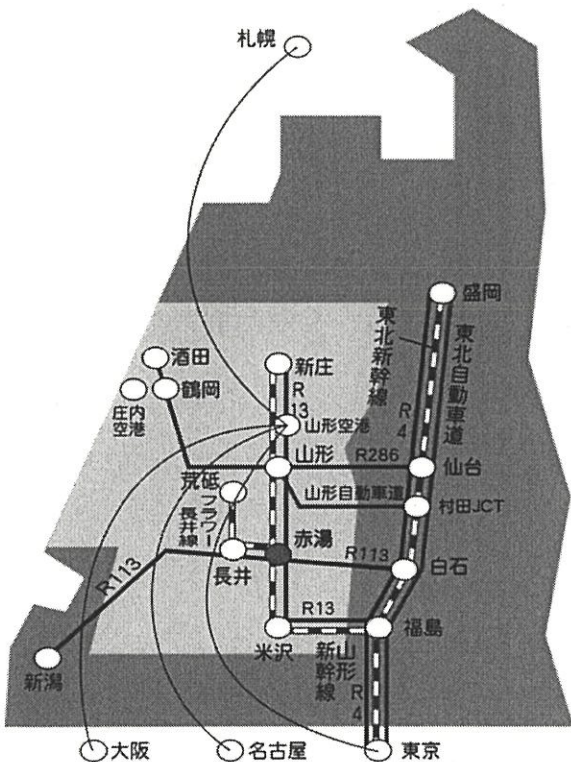
明治4年7月廃藩置県によって米沢県に、同年11月置賜県と改められるとともに五郡制を廃し27区小区に分割、明治6年28区小区に分けた。

昭和30年、宮内町、漆山村、吉野村、金山村が合併し宮内町、沖郷村と梨郷村が合併し和郷村、赤湯町と中川村が合併し赤湯町となった。

昭和42年4月1日、宮内町、赤湯町、和郷村の2町1村が合併し、山形県下13番目の市、南陽市が発足した。

新市名については、当時の県知事安孫子藤吉氏が名づけ親となり、「南陽の菊水」から「北に丘陵・南に沃野、まことに住みよいところ」の字義をもって「南陽市」と命名された。

### ●アクセスマップ●



**熊野大社** 南陽市宮内地区にある熊野大社は、日本三熊野に数えられています。毎年7月下旬には1200年近くも続いている例大祭が開催されます。24日の「宵祭り」には「チゴタゴ」(稚児舞・舞楽)が舞殿で奏される他、祭りの期間中、箱ばよい、獅子ばよい、梵天ばよい、御輿下り等々、様々な行事が行われます。

#### ■車をご利用の方

東京——(東北自動車道 約4時間)——福島飯坂IC——(国道13号 約1時間)——南陽市  
 新潟——(国道113号 約2時間40分)——南陽市  
 仙台——(東北自動車道 約40分)山形蔵王IC——(国道13号 約50分)——南陽市  
 仙台——(東北自動車道 約25分)白石IC——(国道113号 約1時間20分)——南陽市

#### ■列車をご利用の方

東京——(山形新幹線 約2時間30分)——南陽市(赤湯駅)

#### ■飛行機をご利用の方

札幌(新千歳)——(約1時間10分)——山形空港——(国道13号 約1時間10分)——南陽市  
 東京(羽田)——(約1時間)——山形空港——(国道13号 約1時間10分)——南陽市  
 名古屋——(約1時間5分)——山形空港——(国道13号 約1時間10分)——南陽市  
 大阪(伊丹)——(約1時間20分)——山形空港——(国道13号 約1時間10分)——南陽市

# I 市の概要

1. 市制施行 昭和42年4月1日
2. 人口 31,666人 (男15,212人・女16,454人)  
世帯数 11,276世帯  
(平成30年4月1日現在)
3. 面積 160.52Km<sup>2</sup>

土地利用状況 (地目別面積)

(単位: Km<sup>2</sup>)

田	畑	宅地	池沼	山林	牧場	原野	雑種地	その他	計
19.84	14.07	8.75	0.19	80.51	0.46	3.85	4.62	28.23	160.52

平成29年1月1日現在

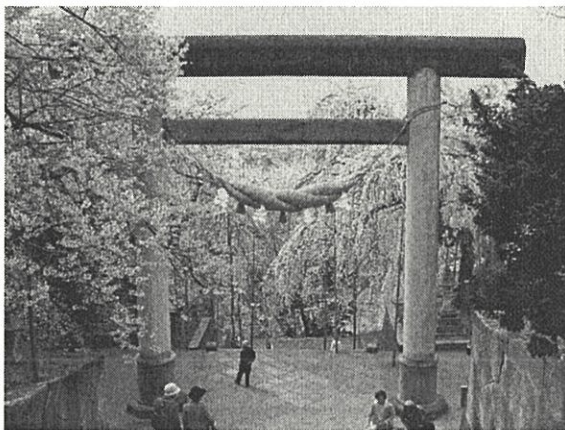
## 4. 産業別就業者数

年次 産業	平成12年		平成17年		平成22年		平成27年	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
総数	18,886	100%	18,089	100%	16,344	100%	16,419	100%
第1次	2,561	13.6	2,234	12.3	1,840	11.3	1,696	10.3
第2次	6,919	36.6	6,055	33.5	5,217	31.9	5,368	32.7
第3次	9,405	49.8	9,734	53.8	9,123	55.8	9,309	56.7
分類不能	1	0	66	0.4	164	1.0	46	0.3

(国勢調査より)

## 5. 都市形態 平地農村都市

## 6. 市の木 (さくら)



◎ 赤湯温泉桜まつり

日本古来から愛され、春を象徴する花として市民のだれもが親しみ、心のよりどころとしてきた樹木で、昭和62年4月1日、市の木として制定。

## 市の花 (きく)



◎ 菊まつり

伝統ある“南陽の菊まつり”にちなみ、市の花としてふさわしく、昭和62年4月1日、市の花として制定。

## Ⅱ 議 会

### 1. 議員の構成

#### (1) 議員数

条 例 定 数            17人      (平成24年の一般選挙より)  
 現 員 数              16人 (欠員1人)

#### (2) 任 期

現 議 員              平成28年4月1日～平成32年3月31日  
 正 副 議 長          議員申し合わせにより2年 (再任妨げない)  
 常 任 委 員 会      委員会条例第3条により2年  
 議 会 運 営 委 員 会   常任委員の任期に準用

#### (3) 党派別議員

(平成30年10月1日現在)

党 派 別	人 員	会 派 別	人 員
自由民主党	1	政 風 会	5
公 明 党	1	保守・公明クラブ	4
日本共産党	1	希 望	2
無 所 属	13	倫 政 会	3
		会派に所属していない議員	2
計	16	計	16

#### (4) 年齢別議員数

(平成30年10月1日現在)

年齢 (歳)	～40	41 ～45	46 ～49	50 ～55	56 ～59	60 ～65	66 ～69	70～	計
人員	0	0	0	1	0	4	6	5	16

・最低年齢53歳    ・最高年齢78歳    ・平均年齢67.3歳

#### (5) 当選回数別議員数

(平成30年10月1日現在)

回数	1	2	3	4	5	6	7	8	計
人員	2	2	5	3	1	0	0	3	16

2. 議員名簿

議 長 高 橋 弘      副議長 川 合 猛

議 席 順

(平成 30 年10月1日現在)

NO	議員氏名	生年月日	年齢	住 所	電 話	所属政党	当選
1	山 口 裕 昭	S40.08.14	53	南陽市若狭郷屋848-22	40-2506	無所属	1
2	島 津 善衛門	S29.01.28	64	南陽市金山735	45-3409	無所属	1
3	(欠 員)						
4	舩 山 利 美	S29.02.22	64	南陽市梨郷1298-2	47-7672	無所属	2
5	山 口 正 雄	S23.11.02	69	南陽市宮内2421-16	47-3740	無所属	2
6	白 鳥 雅 巳	S30.02.17	63	南陽市三間通609-1	40-3750	公明党	3
7	片 平 志 朗	S27.07.31	66	南陽市宮内2992-1	47-4828	無所属	3
8	梅 川 信 治	S24.07.29	69	南陽市三間通1222-9	43-3651	無所属	3
9	川 合 猛	S22.01.25	71	南陽市川樋2745-内2	49-2648	無所属	3
10	高 橋 弘	S21.10.17	71	南陽市下荻353-1	41-2207	無所属	3
11	板 垣 致江子	S27.04.03	66	南陽市蒲生田1370-3	47-4521	無所属	4
12	高 橋 篤	S27.01.16	66	南陽市蒲生田867	47-2508	無所属	4
13	田 中 貞 一	S26.01.26	67	南陽市鍋田885-2	43-5466	無所属	4
14	遠 藤 榮 吉	S33.08.25	60	南陽市宮内386	47-2861	無所属	5
15	佐 藤 明	S20.09.25	73	南陽市二色根79-4	43-6199	日本共産党	8
16	伊 藤 俊 美	S16.02.10	77	南陽市長岡631	43-3920	無所属	8
17	殿 岡 和 郎	S14.10.02	78	南陽市荻830	41-2440	自由民主党	8



### 3. 議会の構成

#### (1) 常任委員会

委員会	定数 (人)	現員 (人)	所管事項
総務	5	5	総務課、みらい戦略課、財政課、税務課、総合防災課、会計課、選挙管理委員会事務局及び監査委員事務局の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項に関する調査及び議案、請願、陳情等を審査する。
文教厚生	6	5	福祉課、すこやか子育て課、市民課及び教育委員会事務局の所管に属する事項の調査及び議案、請願、陳情等を審査する。
産業建設	6	6	農林課、商工観光課、建設課、上下水道課及び農業委員会事務局の所管に属する事項の調査及び議案、請願、陳情等を審査する。

#### (2) 委員会名簿

(平成30年10月12日現在)

総務常任委員会(5)		文教厚生常任委員会(5)	
委員長	山口正雄	委員長	片平志朗
副委員長	田中貞一	副委員長	島津善衛門
委員	高橋弘	委員	梅川信治
委員	高橋篤	委員	遠藤榮吉
委員	殿岡和郎	委員	伊藤俊美

産業建設常任委員会(6)			
委員長	白鳥雅巳	副委員長	山口裕昭
委員	船山利美	委員	川合猛
委員	板垣致江子	委員	佐藤明

議会運営委員会(6)		議会報編集委員会(6)	
委員長	船山利美	委員長	島津善衛門
副委員長	山口裕昭	副委員長	山口裕昭
委員	山口正雄	委員	山口正雄
委員	白鳥雅巳	委員	白鳥雅巳
委員	田中貞一	委員	片平志朗
委員	遠藤榮吉	委員	田中貞一

● 置賜広域行政事務組合議会議員

◎高橋 弘 ◎白鳥雅巳 ◎梅川信治

● 置賜広域病院企業団議会議員

◎高橋 弘 ◎山口正雄 ◎殿岡和郎

● 監査委員 ◎伊藤俊美

● 会派会長 ◎政風会 船山利美 ◎保守・公明クラブ 白鳥雅巳

◎倫政会 山口裕昭 ◎希望 田中貞一

(3) 特別委員会

委員会名	設置年月日	構成	設置目的
予算特別委員会		議長を除く全議員 15人	一般会計、特別会計、企業会計とも予算案の審査を行う。
決算特別委員会		議長と議会選出の 監査委員を除く全 議員14人	一般会計、特別会計、企業会計とも9月定例会で決算案の審査を行う。

(4) 議員全員協議会

市政及び議会全般に係る事項に関し協議又は調整を行う。

(5) 会派会長会

各会派間の意見の調整、連絡又は諸協議を行う。

#### 4. 議会の運営

##### (1) 議会運営委員会

- ・委員数…………… 6人
- ・構成…………… 会派の所属議員数での按分
- ・開催時期…………… 原則、議会開会3日前に開催する。(土日及び祝日の時は前日開催)

##### (2) 一般質問

- ・通告書提出期限…………… 議運開催日2日前の正午まで。(受付は通告書提出期限の1週間前からとする。)ただし3月定例会については、議運開催日の午前10時までとする。
- ・質問通告書の記載内容…………… 質問要旨はできるだけ詳細に記載し、確答を得られるよう配慮するものとする。
- ・質問方式及び時間…………… 一問一答方式で、初回のみ登壇し、一括質問一括答弁とする。また、時間は質疑答弁合計50分以内とする。
- ・発言の順序…………… 通告受付順とする。

##### (3) 予算の審査

- ・一般、特別、企業会計とも予算特別委員会に付託し審査する。

##### (4) 決算の審査

- ・一般、特別、企業会計とも9月定例会で決算特別委員会に付託し審査する。

##### (5) 請 願

- ・提出期限は、議運開催日2日前の正午とし、それ以降に提出されたものは、次の定例会で審査する。
- ・請願文書表は、全文記載する。

##### (6) 陳情・要望

- ・陳情書、要望書についてはコピーしたものを配布のみとする。

#### 5. 印 刷 物

##### (1) 会 議 録

- ・業者に委託 ・ A4判 横2段組 ・ 70部作成 ・ 予算 972千円

##### (2) 議 会 報

- ・年4回 定例会毎に発行(臨時号発行もある)
- ・11,500部発行(地区長を通じて市内全世帯に配布)・予算 946千円
- ・編集は、常任委員会毎に選出された議会報編集委員6人によるものとする。

6. 特別職報酬及び給料

(単位：円)

職名	元年4.1改正	2.4.1改正	4.4.1改正	6.6.1改正	9.4.1改正	18.9.21改正	27.4.1改正
議長	340,000	360,000	400,000	425,000	435,000		
副議長	305,000	322,000	355,000	375,000	385,000		
議員	285,000	300,000	330,000	350,000	360,000		
市長	700,000	770,000	850,000	900,000	920,000	① (460,000)	③ (828,000)
副市長 (H19.4.1~)	535,000	580,000	640,000	680,000	695,000	① (347,500)	
収入役	460,000	500,000	540,000	580,000	595,000	H18.10.1~ 廃止	
教育長 (給料)	440,000	470,000	510,000	540,000	550,000	② 18.12.21改正 (385,000)	

※①市長・副市長の( )は減額時の報酬額。H18.9.1~H22.7.29まで50%を減額。

②教育長の( )は減額時の給料額。H18.12.1~H22.7.29まで30%を減額。

③市長( )は減額時の報酬額。H27.4.1~H30.7.29まで10%を減額。

区分	期末手当		
	6月	12月	計
支給割合	$\frac{155}{100}$	$\frac{165}{100}$	$\frac{320}{100}$
加算割合	$\frac{140}{100}$		

※H29.12.21改正

7. 旅費・調査費・その他

☆ 調査旅費

・ 常任委員会	1人年額	120,000円
・ 議会運営委員会	〃	120,000円
・ 議会報編集委員会	〃	70,000円

☆ 補助金

- ・ 政務活動費 1人月額10,000円を年度当初にまとめて会派に交付

☆ 費用弁償

区分	日当(1日)	宿泊料(1夜)	車賃(1km)
議長・市長	3,000円	14,800円	37円
副議長・副市長	2,700円	13,100円	
議員	2,600円		

☆ 交際費 ・ 議会 800千円 ・ 市 1,430千円

## 8. 歴代議長

代位	氏名	生年月日	就任年月日	退任年月日
初代	長嶋松五郎	M. 37. 11. 10	S. 42. 4. 1	S. 43. 3. 31
2	長島総兵衛	M. 43. 4. 30	43. 4. 12	47. 3. 31
〃	〃	〃	47. 4. 7	49. 4. 8
3	青木清信	M. 43. 3. 3	49. 4. 8	51. 3. 31
〃	〃	〃	51. 4. 8	53. 2. 4
4	小川宮次	M. 35. 11. 28	53. 2. 8	53. 4. 3
〃	〃	〃	53. 4. 3	55. 3. 31
5	山口五三郎	T. 8. 3. 28	55. 4. 8	57. 4. 5
〃	〃	〃	57. 4. 5	59. 3. 31
〃	〃	〃	59. 4. 6	61. 4. 2
〃	〃	〃	61. 4. 2	63. 3. 31
6	高橋吉美	T. 14. 11. 7	63. 4. 5	H. 2. 4. 5
〃	〃	〃	H. 2. 4. 5	4. 3. 31
〃	〃	〃	4. 4. 7	6. 4. 5
7	荒井幸昭	S. 15. 6. 23	6. 4. 5	8. 3. 31
〃	〃	〃	8. 4. 5	10. 4. 6
8	渡部敬	S. 6. 8. 3	10. 4. 6	12. 3. 31
9	小林啓市	S. 11. 9. 12	12. 4. 7	14. 4. 5
10	栗原晴峰	S. 22. 4. 14	14. 4. 5	16. 3. 31
11	塩田秀雄	S. 27. 12. 11	16. 4. 7	18. 4. 7
12	小野健一郎	S. 18. 9. 3	18. 4. 7	20. 3. 31
13	伊藤俊美	S. 16. 2. 10	20. 4. 4	22. 4. 6
〃	〃	〃	22. 4. 6	24. 3. 31
14	遠藤榮吉	S. 33. 8. 25	24. 4. 4	26. 4. 4
〃	〃	〃	26. 4. 4	28. 3. 31
15	田中貞一	S. 26. 1. 26	28. 4. 6	30. 4. 6
16	高橋弘	S. 21. 10. 17	30. 4. 6	在職中

9. 歴代副議長

代位	氏 名	生 年 月 日	就 任 月 日	退 任 月 日
初代	船 山 新 助	M. 31. 8. 8	S. 42. 4. 1	S. 43. 3. 31
2	遠 藤 東 平	T. 5. 11. 7	43. 4. 12	47. 3. 31
〃	〃	〃	47. 4. 7	49. 4. 8
3	須 貝 庄 作	M. 41. 12. 16	49. 4. 8	50. 4. 4
4	佐 藤 忠三郎	M. 42. 10. 17	50. 5. 13	51. 3. 31
〃	〃	〃	51. 4. 8	53. 4. 3
5	小 林 富 市	M. 42. 1. 20	53. 4. 3	55. 3. 31
6	武 田 三 郎	S. 4. 8. 22	55. 4. 8	57. 4. 5
〃	〃	〃	57. 4. 5	59. 3. 31
7	高 野 真 雄	T. 4. 11. 20	59. 4. 6	61. 4. 2
8	高 橋 吉 美	T. 14. 11. 7	61. 4. 2	63. 3. 31
9	加 藤 馨	S. 6. 10. 20	63. 4. 5	H. 2. 4. 5
10	嶋 貫 幸 男	S. 3. 3. 15	H. 2. 4. 5	4. 3. 31
11	大 坂 正十四	T. 14. 9. 22	4. 4. 7	6. 4. 5
12	岩 井 一 敏	S. 16. 1. 27	6. 4. 5	8. 3. 31
13	渡 部 敬	S. 6. 8. 3	8. 4. 5	10. 4. 6
14	五十嵐 諒	S. 22. 2. 13	10. 4. 6	12. 3. 31
15	殿 岡 和 郎	S. 14. 10. 2	12. 4. 7	14. 4. 5
16	小野田 貞 一	S. 5. 2. 24	14. 4. 5	16. 3. 31
17	伊 藤 俊 美	S. 16. 2. 10	16. 4. 7	18. 4. 7
18	鈴 木 英 昭	S. 17. 9. 14	18. 4. 7	20. 3. 31
19	桑 原 仁	S. 23. 2. 05	20. 4. 4	22. 4. 6
〃	〃	〃	22. 4. 6	24. 3. 31
20	田 中 貞 一	S. 26. 1. 26	24. 4. 4	26. 4. 4
21	高 橋 篤	S. 27. 1. 16	26. 4. 4	28. 3. 31
22	高 橋 弘	S. 21. 10. 17	28. 4. 6	30. 4. 6
23	川 合 猛	S. 22. 1. 25	30. 4. 6	在 職 中

10. 歴代事務局長

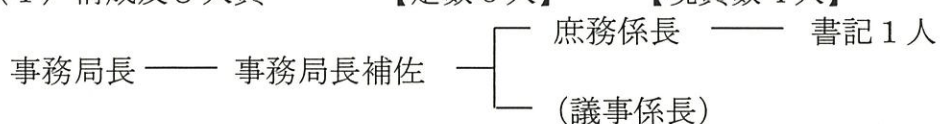
代位	氏名	就任月日	退任月日	摘要
初代	山田 貞雄	S.42. 4. 1	S.47. 3.31	
2	阿部 内蔵之助	47. 4. 1	52. 3.31	
3	清水 辰雄	52. 4. 1	54. 3.31	
4	斎藤 武	54. 4. 1	61. 3.31	
5	竹田 光雄	61. 4. 1	62. 5.31	
6	志藤 和光	62. 6. 1	H. 1. 3.31	
7	笹木 明夫	H. 1. 4. 1	4. 3.31	
8	桑原 弘	4. 3.31	6. 3.31	
9	平 宮雄	6. 4. 1	8. 3.31	
10	清水 勝美	8. 4. 1	10. 3.31	
11	長岡 昭広	10. 4. 1	15. 3.31	
12	鈴木 勝	15. 4. 1	17. 3.31	
13	樋口 一志	17. 4. 1	18. 3.31	
14	佐藤 正昌	18. 4. 1	20. 3.31	
15	須藤 公一	20. 4. 1	22. 3.31	
16	斉藤 彰助	22. 4. 1	24. 3.31	
17	中條 晴雄	24. 4. 1	25. 3.31	
18	大沼 豊広	25. 4. 1	26.12.31	
19	尾形 真人	27. 1. 1	30. 3.31	
20	高梨 敏彦	30. 4. 1	在職中	

11. 議会事務局

(1) 構成及び人員

【定数6人】

【現員数4人】



● 職員数

(平成30年4月1日現在)

	市長 部局	議会	教委	農委	選挙	監査	公営	合計
定数	271	6	87	8	3	3	23	401
職員数	200	4	54	4	2	2	19	285

(2) 議会棟の現況

昭和57年4月25日竣工

● 議会棟面積等

議席	30席	議長・副議長室	36.5 m <sup>2</sup>
執行部	30席	議長公室	71.5 m <sup>2</sup>
速記者	2席	議員控室(1室)	113.0 m <sup>2</sup>
一般傍聴	41席	議員全員協議会室	109.5 m <sup>2</sup>
記者	5席	委員会室(2室)	74.0 m <sup>2</sup>
事務室	39.8 m <sup>2</sup>	図書室	39.0 m <sup>2</sup>
議場	217.5 m <sup>2</sup>	モニタ一室	12.5 m <sup>2</sup>
		傍聴席	61.5 m <sup>2</sup>

### Ⅲ 議会活動状況(平成29年分)

#### 1. 議会開催状況

区 分	会期日程	会期日数	本会議日数	議案件数			決 議 態 様						本会議時間数	
				市長提案	議員提案	計	可決	同意	認定	承認	撤回	その他		
定例会	3月	3月 3日 ～3月 21日	19	4	30		30	27	3					7:46
	6月	6月 2日 ～21日	20	4	10	1	11	7	1				3	7:14
	9月	9月 1日 ～21日	21	4	19	1	20	9	2	8			1	7:43
	12月	12月 4日 ～21日	18	4	24		24	22			2			8:32
	小 計		78	16	83	2	85	65	6	8	2		4	31:15
臨時会	1回	4月21日	1	1	6		6	3			1		2	0:30
	小 計		1	1	6		6	3			1		2	0:30
合 計		79	17	89	2	91	68	6	8	3		6	31:45	



2. 議案提出状況

区 分		議 決 事 件										
		条 例	予 算	決 算	意 見 書	決 議	専決処分		同 意	契 約	そ の 他	合 計
							条例	予算				
定 例 会	3月	8	14						3		5	30
	6月	3	1		1				1		5	11
	9月	1	7	8	1				2		1	20
	12月	3	11					2			8	24
	小計	15	33	8	2			2	6		19	85
臨 時 会	1回	3						1			2	6
	小計	3						1			2	6
合 計		18	33	8	2			3	6		21	91

### 3. 議案・議決状況

#### (1) 市長提出付議事件数

区	分	原案可決	修正可決	否決	継続審議	審議未了	撤回	件数合計
地方自治法第96条1項議決事件	条 例(1号)	18						18
	予 算(2号)	33						33
	決 算(3号)	8						8
	4号から14号までの議案	2						2
専 決 処 分 案 件		3						3
地方自治法第96条1項15号及び96条2項を含むその他すべての議案		25						25
合 計		89						89

#### (2) 議員提出付議事件数

区 分	原案可決	修正可決	否 決	継続審議	審議未了 撤 回 そ の 他	合 計
条 例						
規 則						
意 見 書	2					2
決 議						
そ の 他						
合 計	2					2

### 4. 請願処理状況

採 択	不採択	翌年へ繰越	取り下げ	審議未了	受案件数
1	1				2

### 5. 一般質問者数

3月定例会 (2日)	6月定例会 (2日)	9月定例会 (2日)	12月定例会 (2日)	合 計 (8日)
7人	7人	8人	9人	31人

### 6. 傍聴者数

(報道関係者除く)

3 月 定例会	6 月 定例会	9 月 定例会	12 月 定例会	臨時会	委員会	合 計
19 人	50 人	38 人	19 人	0 人	4 人	130人

7. 一般質問

3月定例会

質問者	質問事項
高橋 一郎	1. 協働のまちづくり構想について 2. 非常勤職員の待遇改善について
山口 裕昭	1. 子育て支援について
島津 善衛門	1. 28年度市政運営の基本方針と主要施策の総括について 2. 29年度市政運営について
板垣 致江子	1. 市政全般 施政方針について
山口 正雄	1. 「安全・安心な災害に強いまちづくり」について 2. 株式会社ハイジアパーク南陽の経営について
佐藤 明	1. 国民健康保険の「都道府県化」について 2. 養護老人ホーム「南陽やすらぎ荘」改築及び民営化計画について
片平 志朗	1. 子どもの貧困対策について

6月定例会

質問者	質問事項
船山 利美	1. ふるさと納税について 2. 平成30年のコメ政策転換における対応について
高橋 一郎	1. 高速交通網時代のスポーツと商工観光の振興施策について
山口 裕昭	1. 人口減少の歯止め対策について 2. 烏帽子山公園の桜の保全について
島津 善衛門	1. 後期基本計画「2. 産業のまちづくり」について 2. マイナンバーの情報保護について
白鳥 雅巳	1. 高齢者の運転免許証の返納しやすい環境整備について 2. インバウンド事業（外国人の誘客）について 3. 本市オリジナルの婚姻届の作成について
川合 猛	1. 一級河川前川河川改修について 2. スマートインターチェンジの整備について 3. 白竜湖景観の保全について

質 問 者	質 問 事 項
佐 藤 明	1. 市長選挙について 2. 人口減と少子化対策について 3. 介護保険について

9月定例会

質 問 者	質 問 事 項
高 橋 一 郎	1. 温泉を活かしたまちづくり 2. 市民の市民による市民のためのわくわくするまちづくり
山 口 裕 昭	1. 除雪について 2. 市長が考える南陽市の未来像について
山 口 正 雄	1. 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実現に向けて
島 津 善 衛 門	1. 獣害対策（イノシシ）について 2. 空き家対策について
片 平 志 朗	1. 森林の保全と再生について 2. 若者の定住・交流対策の推進について
川 合 猛	1. 南陽市空家等対策について 2. ラーメンマップについて 3. 台湾へのトップセールスについて 4. インターハイソフトボール大会について
高 橋 篤	1. 平成30年7月に行われる市長選について 2. 高齢者の免許自主返納状況と今後の助成制度について
佐 藤 明	1. 地方自治体の窓口業務について 2. 介護保険について

12月定例会

質 問 者	質 問 事 項
船 山 利 美	1. 平成30年度からのコメ政策対応の現状について 2. 2020年東京五輪・パラリンピックホストタウン推進事業について 3. 白岩市長の市長選出馬表明と市政運営について
船 山 利 美	1. まちづくりの基本条例について 2. 農林商工業総合振興条例及び経済戦略について

質 問 者	質 問 事 項
山 口 裕 昭	1. 地域活性化の取り組みについて 2. 高齢者、障がい者の方への市民サービス向上及びバリアフリー観光のその後の進捗状況について
島 津 善 衛 門	1. 環境衛生事業（一般廃棄物）について 2. 介護マークの普及について 3. 施政方針の総括について
高 橋 弘	1. 南陽市の森林政策について 2. 吉野川河川工事後の跡地利用について 3. 野生動物対策について
佐 藤 明	1. 来年度予算編成と重要施策について 2. 国民健康保険税について 3. 旧南陽市民会館及び旧赤湯公民館の跡地利用について
白 鳥 雅 巳	1. 市内巡回バス経路の不均衡解消と現状把握について 2. 訪問理美容サービスへの助成制度の確立について
板 垣 致 江 子	1. 健康のまちづくりの取り組みについて 2. 観光のまちづくりについて 3. 教育のまちづくりについて
片 平 志 朗	1. 合成洗剤の危険性防止対策について 2. 中小企業振興のための施策について

#### 8. 議員発議状況及び審査結果

区 分	発議番号	件 名	審査結果
6月定例会	第1号	改正組織犯罪処罰法の廃止を求める意見書の提出について	原案可決
9月定例会	第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	原案可決

## 9. 請願審査結果

番 号 (付 託 委員会)	件 名	請 願 者	議 決 年月日	結 果
第1号 (総務)	「共謀罪」と同趣旨の「テロ等組織犯罪準備罪」創設に反対する請願	東置賜地区平和センター 議長 太田 吉運	29.6.21	不採択
第2号 (総務)	地方財政の充実・強化を求める請願について	連合山形置賜地域協議会 議長 深瀬 裕介	29.9.21	採 択

## 10. 各常任委員会等行政視察状況

委 員 会 名	視 察 地	視 察 事 項
総務常任委員会 7月4日～6日	北海道恵庭市	1. 公共施設の管理計画について
	北海道北広島市	1. 定住促進事業について
	北海道札幌市公園緑化協会	1. 雪冷房システムについて
文教厚生常任委員会 7月3日～5日	愛知県犬山市	1. 歴史資産を生かしたまちづくりについて
	静岡県藤枝市	1. 健康・予防日本一ふじえだプロジェクトについて
	静岡県三島市	1. スマートウェルネスみしま推進事業について
産業建設常任委員会 7月12日～14日	北海道七飯町	1. 特産物のブランド化の状況と今後について 2. 6次産業の状況と今後について
	北海道北斗市	1. 北斗市の観光と観光協会の位置づけについて
議会運営委員会 10月3日～5日	熊本県宇土市	1. 議会運営について 2. 災害時における議会の対応について
	福岡県古賀市	1. 災害時における議会の危機管理体制について 2. 議会運営（改革）について

委員会名	視察地	視察事項
議会報編集委員会 10月23日～24日	石川県内灘町	1. 議会だよりの編集、発行、全般について

#### 1 1. 行政視察来市状況

月 日	議 会 名	調 査 事 項	人数 (内随行)
4月14日	山形県庄内町	1. 食を生かした誘客事業について	7(1)
5月10日	栃木県鹿沼市	1. 南陽市文化会館について	1(0)
7月12日	長野県飯田市	1. 全国初となる大型木造耐火の文化ホール「南陽市文化会館」について	2(0)
7月27日	静岡県富士宮市	1. 南陽市文化会館について	3(0)
8月9日	山形県河北町	1. 南陽市文化会館について	7(0)
10月12日	佐賀県鹿島市	1. 南陽市文化会館の建設について	8(1)
11月2日	富山県	1. 南陽市文化会館について	6(0)
11月16日	岩手県釜石市	1. 南陽市文化会館「シェルターなんようホール」について	4(0)
11月22日	東京都板橋区	1. 南陽市文化会館について	4(0)
12月22日	静岡県浜松市	1. 木造市民ホール施設の整備について	9(1)

## IV 行 財 政

### 1. 歴代市長

代 位	氏 名	生 年 月 日	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日	摘 要
職 務 執 行 者	佐 藤 義 一	M. 35. 11. 3	S. 42. 4. 1	S. 42. 4. 17	S. 42. 4. 1 市制施行
初 代	〃	〃	S. 42. 4. 28	S. 50. 3. 29	
2	遠 藤 東 平	T. 5. 11. 7	S. 50. 4. 28	S. 53. 3. 10	
3	須 藤 直 一 郎	M. 39. 11. 22	S. 53. 4. 16	S. 53. 6. 15	
4	新 山 昌 孝	T. 15. 6. 8	S. 53. 7. 30	S. 61. 7. 29	
5	大 竹 俊 博	S. 14. 12. 2	S. 61. 7. 30	H. 10. 7. 29	
6	荒 井 幸 昭	S. 15. 6. 23	H. 10. 7. 30	H. 18. 7. 29	
7	塩 田 秀 雄	S. 27. 12. 11	H. 18. 7. 30	H. 26. 7. 29	
8	白 岩 孝 夫	S. 44. 1. 29	H. 26. 7. 30	在 職 中	

### 2. 歴代助役（～H19. 3. 31）・副市長（H19. 4. 1～）

代 位	氏 名	生 年 月 日	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日	摘 要
初 代	三 浦 玄 一	M. 44. 10. 15	S. 43. 11. 1	S. 51. 10. 31	
2	鈴 木 繁 次	T. 8. 3. 18	S. 53. 1. 1	S. 53. 2. 2	
3	村 山 純 一	T. 12. 11. 12	S. 53. 6. 1	S. 61. 5. 31	
4	滝 澤 政	S. 3. 10. 11	S. 62. 6. 1	H. 7. 3. 31	
5	笹 木 明 夫	S. 9. 2. 8	H. 7. 4. 1	H. 9. 3. 31	
6	高 山 和 夫	S. 12. 3. 15	H. 9. 5. 1	H. 13. 4. 30	
7	大 場 忠 夫	S. 20. 11. 20	H. 15. 4. 1	H. 18. 7. 29	
8	柴 田 誠	S. 20. 1. 29	H. 18. 10. 1	H. 22. 9. 30	
9	安 達 正 司	S. 27. 4. 2	H. 23. 4. 1	H. 26. 7. 29	
10	大 沼 豊 広	S. 30. 2. 3	H. 27. 1. 1	在 職 中	

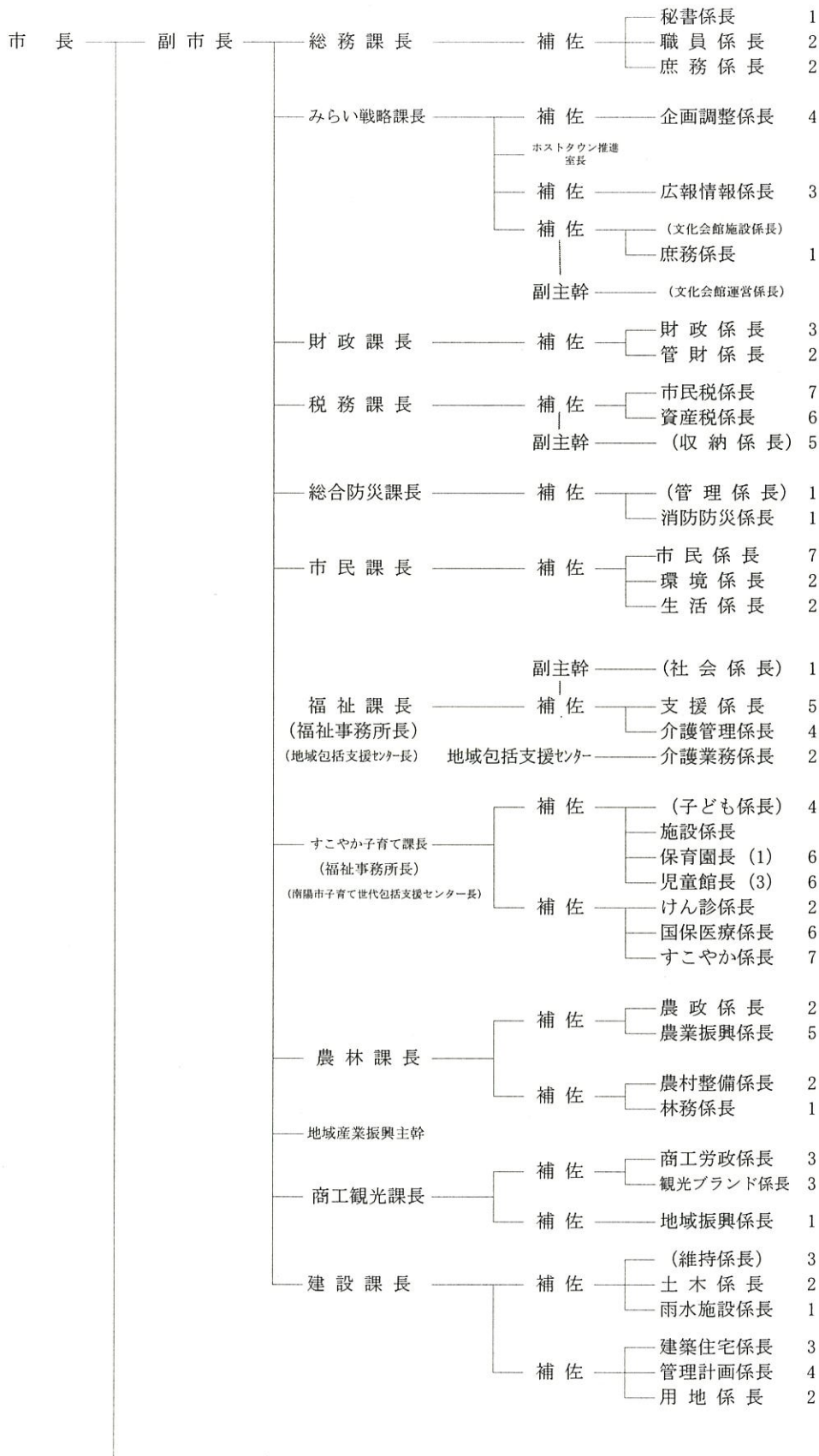
### 3. 歴代収入役

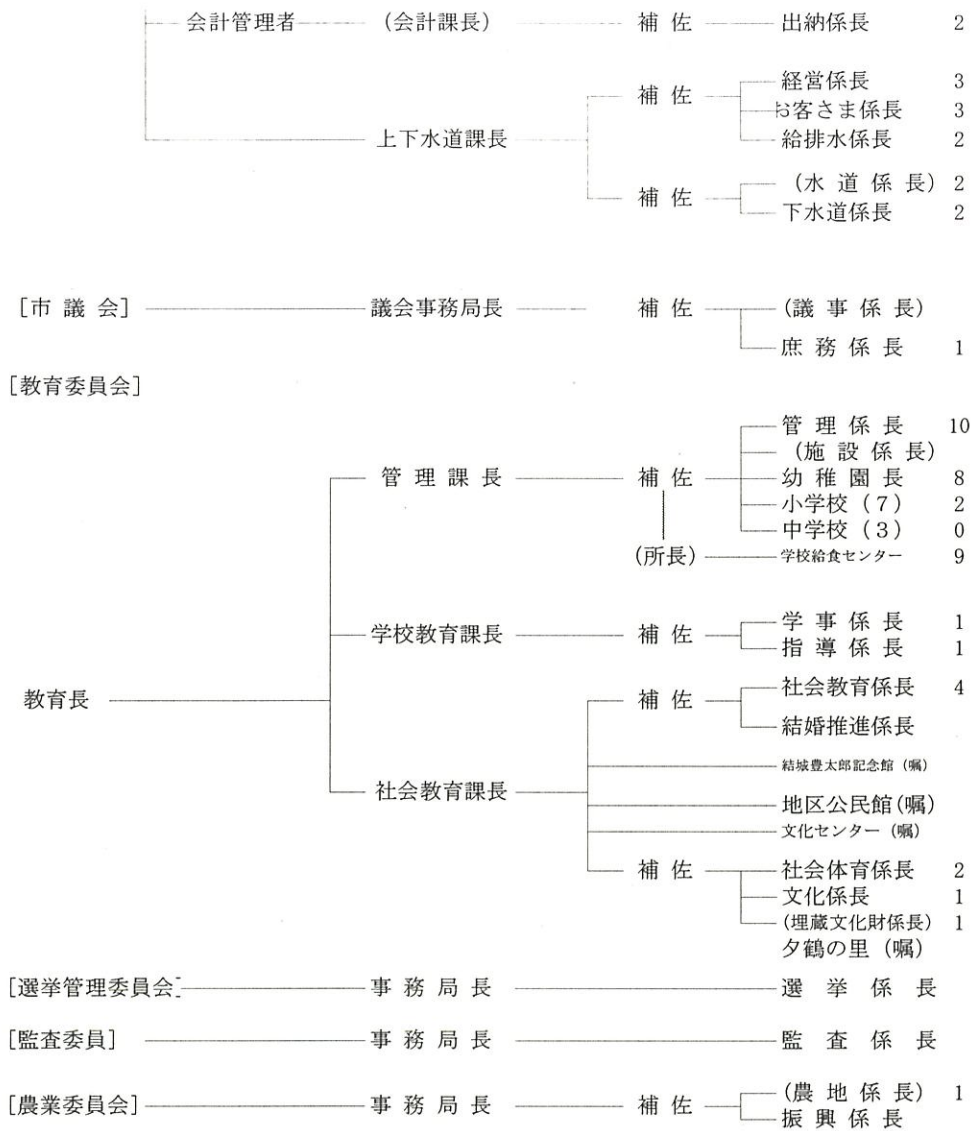
代 位	氏 名	生 年 月 日	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日	摘 要
初 代	近 野 伊 重	M. 40. 5. 13	S. 42. 7. 1	S. 46. 6. 30	
2	新 山 清 一	T. 4. 2. 15	S. 46. 10. 1	S. 50. 9. 30	
3	佐々木 富次郎	T. 7. 6. 11	S. 50. 10. 1	S. 54. 9. 30	
4	殿 岡 廣 司	T. 12. 2. 8	S. 55. 4. 1	S. 61. 8. 31	
5	滝 澤 政	S. 3. 10. 11	S. 61. 10. 1	S. 62. 5. 31	
6	竹 田 光 雄	S. 4. 7. 29	S. 62. 6. 1	H. 5. 3. 31	
7	笹 木 明 夫	S. 9. 2. 8	H. 5. 4. 1	H. 7. 3. 31	
8	後 藤 武 夫	S. 15. 8. 15	H. 7. 4. 1	H. 15. 3. 31	
9	齋 藤 誠 一	S. 19. 10. 31	H. 15. 4. 1	H. 18. 7. 29	



4. 南陽市組織機構図

平成30年4月1日





※職名 ( ) 書きについては、兼務職。右端の数値については役職以外の職員数。

5. 平成30年度 議会費（当初予算）

（単位：千円）

区 分(節)	平成30年度		平成29年度		比較 増減	対前年 増減率 (%)
	予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)		
1 報 酬	74,640	42.2	74,640	42.2	0	0.0
2 給 料	18,255	10.3	18,136	10.2	119	0.7
3 職員手当	36,851	20.8	36,084	20.5	767	2.1
4 共 済 費	33,763	19.1	34,704	19.6	△941	△2.7
8 報 償 費	202	0.1	181	0.1	21	11.6
9 旅 費	5,768	3.3	5,748	3.2	20	0.3
10 交 際 費	800	0.5	800	0.5	0	0.0
11 需 要 費	1,437	0.8	1,336	0.8	101	7.6
12 役 務 費	221	0.1	251	0.1	△30	△12.0
13 委 託 料	972	0.5	972	0.5	0	0.0
14 使用料及び賃借料	1,147	0.6	1,152	0.6	△5	△0.4
18 備品購入費	32	0.0	32	0.0	0	0.0
19 負担金補助 及び交付金	2,920	1.7	2,947	1.7	△27	△0.9
27 公 課 費						
合 計	177,008	100.0	176,983	100.0	25	0.0

6. 平成30年度 一般会計（当初予算）

歳 入

（単位：千円）

区 分	平成30年度		平成29年度		比較増減	対前年 増減率 (%)
	予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)		
1 市 税	3,402,655	24.0	3,427,364	24.9	△24,709	△0.7
2 地方譲与税	140,000	1.0	127,000	0.9	13,000	10.2
3 利子割交付金	4,500	0.0	4,000	0.0	500	12.5
4 配当割交付金	3,500	0.0	3,500	0.0		0.0
5 株式等譲渡所得割交付金	1,000	0.0	1,000	0.0		0.0
6 地方消費税交付金	564,600	4.0	560,000	4.1	4,600	0.8
7 自動車取得税交付金	25,000	0.2	22,500	0.2	2,500	11.1
8 地方特例交付金	21,000	0.1	16,000	0.1	5,000	31.3
9 地方交付税	4,075,200	28.7	4,250,000	30.9	△174,800	△4.1
10 交通安全対策特別交付金	6,800	△0.1	6,800	0.0		0.0
11 分担金及び負担金	200,802	1.4	192,739	1.4	8,063	4.2
12 使用料及び手数料	165,764	1.2	171,405	1.2	△5,641	△3.3
13 国庫支出金	1,656,219	11.7	1,529,576	11.1	126,643	8.3
14 県支出金	1,130,840	8.0	1,140,753	8.3	△9,913	△0.9
15 財産収入	19,590	0.1	20,129	0.2	△539	△2.7
16 寄附金	407,400	2.9	507,442	3.7	△100,042	△19.7
17 繰入金	977,557	6.9	418,384	3.0	559,173	133.7
18 繰越金	200,000	1.4	200,000	1.5		0.0
19 諸収入	122,273	0.9	192,208	1.4	△69,935	△36.4
20 市債	1,075,300	7.6	979,200	7.1	96,100	9.8
合 計	14,200,000	100.0	13,770,000	100.0	430,000	3.1

## 歳 出

(単位:千円)

区 分	平成30年度		平成29年度		比較増減	対前年 増減率 (%)
	予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)		
1 議 会 費	177,008	1.3	176,983	1.3	25	0.0
2 総 務 費	1,973,877	13.9	1,934,584	14.1	39,293	2.0
3 民 生 費	5,209,318	36.7	4,742,655	34.5	466,663	9.8
4 衛 生 費	690,851	4.9	663,248	4.8	27,603	4.2
5 労 働 費	55,347	0.4	55,747	0.4	△400	△0.7
6 農林水産業費	518,255	3.7	578,471	4.2	△60,216	△10.4
7 商 工 費	285,963	2.0	331,272	2.4	△45,309	△13.7
8 土 木 費	1,763,108	12.4	1,748,300	12.7	14,808	0.8
9 消 防 費	673,871	4.7	646,261	4.7	27,610	4.3
10 教 育 費	1,368,030	9.6	1,391,090	10.1	△23,060	△1.7
11 災害復旧費	41,750	0.3	44,055	0.3	△2,305	△5.2
12 公 債 費	1,422,615	10.0	1,437,326	10.4	△14,711	△1.0
13 諸 支 出 金	7	0.0	8	0.0	△1	△12.5
14 予 備 費	20,000	0.1	20,000	0.1	0	0.0
合 計	14,200,000	100.0	13,770,000	100.0	430,000	3.1

7. 平成30年度 各会計予算

(一般会計・特別会計)

(単位：千円)

区 分		平成30年度 当初予算額	平成29年度 当初予算額	比較増減	
				予算額	増減率(%)
一般会計		14,200,000	13,770,000	430,000	3.1
特別 会計	国民健康保険特別会計	3,275,067	4,301,251	△1,026,184	△23.9
	財産区特別会計	84,290	78,528	5,762	7.3
	育英事業特別会計	5,364	5,364	0	0.0
	介護保険特別会計	3,838,396	3,446,043	392,353	11.4
	後期高齢者医療特別会計	379,365	346,059	33,306	9.6
	小 計	7,582,482	8,177,245	△594,763	△7.3
合 計		21,782,482	21,947,245	△164,763	△0.8

(企業会計)

(単位：千円)

区 分			平成30年度 当初予算額	平成29年度 当初予算額	比較増減	
					予算額	増減率(%)
水道事業	収益的収支	収入	855,003	861,471	△6,468	△0.8
		支出	845,110	812,620	32,490	4.0
	資本的収支	収入	75,133	74,911	222	0.3
		支出	433,414	413,550	19,864	4.8
※資本的収支の差については、損益勘定留保資金、建設改良積立金、消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填						
下水道事業	収益的収支	収入	1,036,298	1,039,487	△3,189	△0.3
		支出	1,013,827	1,013,394	433	0.0
	資本的収支	収入	701,633	766,603	△64,970	△8.5
		支出	1,086,011	1,149,271	△63,260	△5.5
※資本的収支の差については、損益勘定留保資金、消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填						

## 8. 平成30年度 一般会計歳出予算（性質別予算）

（単位：千円）

区 分	平成30年度当初		平成29年度当初		比較増減 (A)-(B)
	予算額(A)	構成比 (%)	予算額(B)	構成比 (%)	
人件費	2,329,086	16.4	2,278,368	16.6	50,718
物件費	1,583,840	11.2	1,467,695	10.7	116,145
維持補修費	253,511	1.8	252,308	1.8	1,203
扶助費	3,039,412	21.4	2,839,644	20.6	199,768
補助費等	2,574,729	18.1	2,727,826	19.8	△153,097
積立金	213,734	1.5	211,350	1.5	2,384
投資及び出資金					
貸付金	50,000	0.4	91,000	0.7	△41,000
普通建設事業費	1,304,962	9.2	1,057,620	7.7	247,342
災害復旧事業費	41,750	0.3	44,055	0.3	△2,305
公債費	1,422,604	10.0	1,437,315	10.4	△14,711
繰出金	1,366,372	9.6	1,342,819	9.8	23,553
予備費	20,000	0.1	20,000	0.1	
合 計	14,200,000	100.0	13,770,000	100.00	430,000
特定財源	4,431,760	31.2	4,287,287	31.1	144,473
一般財源	9,768,240	68.8	9,482,713	68.9	285,527

